

特集：CFAO S.A.への資本参画について

これまでプレスリリースやホームページでもお伝えしてまいりましたが、当社は2012年度にフランスの商社「CFAO S.A.」へ資本参画しました。これは過去最大級の投資案件で、資本参画の経緯と目的について再度ご紹介します。



当社社長 加留部 淳

CFAO S.A.社長 Alain Viry

CFAO S.A.概要

*2012年12月末時点

設立年	1907年
従業員数	11,400人
上場市場	ユーロネクスト・パリ (NYSE Euronext in Paris)
売上高	3,585百万ユーロ
事業展開国数	44か国・地域 (内、アフリカは32か国)
当社出資比率	97.81%
主な事業内容	自動車輸出入・販売・メンテナンス、 医薬品卸、飲料および日用品製造・販売、 建機およびエレベーター販売・メンテナンス、 リース事業、IT事業等

CFAO S.A.資本参画経緯

■2012年8月

当時CFAO S.A.の筆頭株主であるPPR S.A.から29.8%の株式を1株当たり37.50ユーロで取得。CFAO S.A.の残りの全株式に対し、株式公開買付(TOB)実施を決定。同社の最高意思決定機関であるSupervisory Boardへ当社役員2名を派遣(非常勤)。

■2012年12月

TOB終了。最終的にCFAO S.A.の97.81%の株式を取得(取得総額:2,345億円)。

■2013年1月

当社からCFAO S.A.へ副社長1名、駐在員3名を派遣。

■2013年2月

CFAO S.A.のユーロネクスト・パリ(NYSE Euronext in Paris)上場維持を決定。

CFAO S.A.への資本参画背景

アフリカは人口増加・中間所得者層の台頭による消費と内需の拡大や豊富な資源など、今後も大きな経済成長が期待できる地域です。当社は同市場を戦略的重点地域として、豪亜・中国・欧州・北中米に続く「第5の極」と位置付けています。

このような海外地域戦略のもと、主に東南部アフリカで事業展開してきた当社は、北西部アフリカに強みを持つCFAO S.A.と連携することで、今後アフリカでの事業拡大が見込めると判断し、同社への資本参画を決めました。

両社の事業戦略

CFAO S.A.は「Equipment」、「Healthcare」、「Consumer goods」の3つの分野を拡大する戦略を持っています。

「Equipment」事業では自動車や産業機械の輸入・販売・メンテナンスなど、「Healthcare」事業では医薬品の卸売事業、「Consumer goods」事業では、飲料生産事業など、マーケットリーダーとなる事業に注力し、それぞれの分野を拡大する方針をとっています。

一方、当社は「GLOBAL 2020 VISION」で、モ

ビリティ、ライフ&コミュニティ、アース&リソースの3つの分野に注力、事業領域を拡大して、自動車に続く第二、第三の柱を築いていく方針をとっています。

CFAO S.A.の事業領域や戦略は当社のもとの重なる部分が多く、かつ地域での重複がほとんどないため、様々な分野で相互補完が期待できます。



今後の取り組みについて

CFAO S.A.とともに様々な事業展開を図るため、当社内に「戦略提携事業部」を設置し、CFAO S.A.へ派遣した当社役職員を窓口と同社と具体的な取り組みについて検討を開始しました。モビリティ分野では担当国が両社で53か国、取り扱いブランドも40を超え、アフリカ最大手の自動車取り扱いとなり、今後、更なる拡大を目指します。また、当社がケニアを中心に組み立ててまいりました自動車バリューチェーンの強化・拡大についても、今後CFAO S.A.と協業したいと考えています。ライフ&コミュニティ分野では、CFAO S.A.のアフリカナンバー1の医薬品卸売事業をはじめ、飲料生産事業等から培ったディストリビューション機能を活用したいと考えております。また、急速に成長するア

フリカの消費財市場を取り込むべく、新規プロジェクトを検討していきます。アース&リソース分野ではCFAO S.A.のアフリカにおける人脈やネットワークと当社の電力プラント事業から培ったノウハウを融合させて、資源やインフラ関連事業を、これまで取り組みのなかった地域で拡大していくことを検討していきます。また、アフリカでのニーズが高い資源・インフラ開発や農業セクターの発展に貢献するべく、機械分野においても協業したいと考えております。

CFAO S.A.は当社にとって最良のパートナーであり、同社とともにアフリカ地域戦略とビジョン達成に向けて全社で取り組んでまいります。